

胃の手術を受けられる方へ _____ 様 医師 _____ 看護師 _____

経過 月日 目標	手術前日	手術当日（術前）	手術当日（術後）	術後1日目	術後2日目
	落ち着いて手術にのぞむことができる		手術後の安静が守られる 体の異常があれば看護師に知らせることができる	体の異常があれば看護師に知らせることができる 創部に問題がない	
治療 点滴 内服	眠前に下剤を内服します 	必要に応じて手術室入室前に点滴をします 	点滴をします	回診があります	
			おなかに管が入っています 背中に痛み止めの管が入っています 酸素マスク、心電図、血圧計がつきます 鼻から胃に管が入っています 背中に痛み止めの管が入っています	点滴をします おなかに管が入っています	
				背中に痛み止めの管が入っています	
				医師の許可があれば鼻に入っている管が抜けます	
				酸素マスク、心電図、血圧計がとれます	
検査				採血、レントゲン検査があります	
安静度	院内歩行自由です		ベッド上安静です 寝返りはできます	院内歩行自由です	
食事	普通食です	水分は（ ）時までです	絶飲食です	体の状態をみて、医師の許可があれば水分摂取や食事が再開となります	
	麻酔科の指示があれば水分、電解質補給のため経口補水液を飲みます（詳細は別紙を参照してください）				
清潔	おへその掃除をします その後シャワーをしてください	歯磨きをしてください	うがいはできます	体を拭きます	
排泄	制限はありません	手術室入室前に排尿を済ませてください	手術中に尿を出すための管が入ります	尿の管が入っています	
説明 指導	不安なことや気になることがあれば 医師、看護師にお聞きください	手術室入室前に義歯、コンタクト等貴金属を外してください	医師よりご家族に手術結果の説明があります（看護師が案内します）	リハビリスタッフとリハビリを行います	
	麻酔科指示の説明があります	ご家族は手術中、指定の場所で待機してください	痛みや吐き気がある場合は看護師に知らせてください	術後疼痛管理チームが痛みの具合を確認し、薬の調整をするため回診します	

* 病状によって医師より安静度、清潔、退院日など変更する場合があります * わからないことがありましたら、その都度看護師にお聞きください

別紙 入院診療計画書
胃の手術を受けられる方へ

経過 月日 目標	術後3日目	術後4日目	術後5日目	術後6日目	術後7日目	術後8～10日目						
	創部に問題がない 痛みが落ち着きリハビリができる 問題なく食事摂取ができる	創部に問題がない 食後もおなかの症状がない 食事の摂り方を理解することができる		食事の摂り方を理解することができる 退院後の治療や注意事項がわかる								
治療 点滴 内服												
							回診があります					
							点滴をします		本日で点滴は終了です			
							お腹に管が入っています		医師の許可があればおなかに入っている管が抜けます			
検査	午前麻酔科医が背中 の痛み止めの管を抜きます											
	採血、レントゲン検査が あります	8時半に胃透視の検査 があります（看護師が 案内します）			採血、レントゲン検査があります							
安静度	院内歩行自由です											
食事	医師の指示で食事の形態を変更していきます 食事は少しずつ固くなっていきます		手術後は一度に食べられる量が少なくなるため、5分粥となれば15時頃におやつを配ります									
清潔	希望に応じて体を拭いたり髪を洗います		医師の許可があればシャワーができます									
排泄	トイレに歩けるようなら尿管 を抜きます	制限はありません										
説明 指導	食事はよく噛んでゆっくり食べてください 看護師より食事の摂り方についてパンフレットを用いた説明があります			栄養士より退院後の食事の摂り方について説明があります		医師の許可があれば退院可能です						
												

*病状によって医師より安静度、清潔、退院日など変更する場合があります *わからないことがありましたら、その都度看護師にお聞きください
以上につき、

年 月 日 主治医から説明を受けました。

患者署名： 代理人： (続柄)
富山赤十字病院 2024. 12 改訂